

5月号 2018年6月1日 発行

園だより

そらやん保育園

そらやん保育園のHP もご覧下さい⇒lovepeacegroup.com/sorayan/ (随時更新中☆)

【こどもの日の集い】



5月2日に『こどもの日の集い』を行いました。

こいのぼりのペープサートは、鯉が“大空を自由に飛びたい！”という夢を叶えて空を散歩する素敵な話☆

鯉が空へ羽ばたいた瞬間、「わぁ～！」と大喜びの子どもたちでした。

こいのぼりの歌、みんなで唄ったね♪小さいクラスの子どもたちはお兄ちゃんお姉ちゃんの歌声に合わせて身体を動かしたり口ずさんだりしている姿がとっても可愛かったです☆

そらやん保育園の子どもたちが元気にたくましく成長しますようにと、職員一同、願いを込めて…

“☆みらいへはばたけ☆

そらやんっ子！！”



♪ミニ遠足久保公園に行きました♪



<遠足コメント>

ほしぐみ: 保育者の抱っこやカートに乗って久保公園に行きました。短い滑り台と保育者の支えのもと滑ったり、保育者と一緒に長い滑り台を滑ったり、とっても楽しいミニ遠足でした。

つきぐみ: ミニ遠足に向けて 10 人中8人の子どもが歩いてお散歩に行けるようになりました。ミニ遠足の日も少し暑かったですが、頑張って歩いて行きました。カートの子どももしっかり端を持ち立って景色やみんなの姿を楽しみながら行きました。子どもたちにとってとても素敵な遊具があり、体を動かし楽しんだ初めてのミニ遠足でした。

ひかりぐみ: お友達と上手に手をつないで、お歌を歌いながら歩いたり、公園では自分の好きな遊具で積極的に楽しそうに遊んだり、お姉ちゃんお兄ちゃんと一緒に川遊びをしました。

ひこうき・そらぐみ: 遠足は久保公園に歩いて行き、大型遊具で遊んだり、川遊びをしたり、広い場所で思のいっき走り走ってみんなで追いかっこをしたり…。一番の楽しみだった、お母さんの手作り弁当を、にこにこ笑顔で友だちと見せ合いながら喜んで美味しそうに食べている姿が、とても良い表情で、とても素敵でした。



HAPPY BIRTHDAY

☆お誕生日会をしました☆



5月25日にお誕生日会を行いました。

ほしくみの4月生まれのかうじろうくん

つきぐみの5月生まれのはるまくんをみんなでお祝いしました。

そらやん保育園で2回目の誕生日会だったので、“たんたんたんたんたん誕生日”の歌も歌える友だちが増えてきました。小さい子は体を揺らしたり、手を叩いたりしてお祝いしていましたよ。保育士からの出し物のプレゼントは、大型絵本「どうぞのいす」でした。話が始めると、次々に出てくる動物とカゴのプレゼントに目を奪われて、みんな興味津々でお話を聞いていました☆



ほしぐみだより

新年度がスタートして早くも1か月が経ちました。

新しい環境や保育士に慣れ笑顔もたくさん見られるようになり、毎日元気一杯過ごしています。

天気の良い日は園庭やテラスに出てシャボン玉や砂遊びをしています。

室内では絵の具に触れ初めての感触に興味津々の子どもたち。手をぎゅーっと握りしめて感触をあじわう姿も見られましたよ。来月は梅雨に入ります。体調管理に気をつけ、雨の日の遊びを工夫していきたいと思っています。



つきぐみだより

ゴールデンウィーク明け保護者の方と離れることを嫌がる子どもが多いかなと思っていましたが、その心配をいい意味で裏切ってくれたつきぐみの子どもたち。登園することを喜んでくれるようになりうれしく思います。

5月に入り、テーブルに一人ひとりのマークを貼ると、今では自分のマークを見つけて自分の場所に座れるようになりました。

食後のスタイの片づけも自分でカゴに直せるようになり、少しずつ「自分でしようとする力」がついてきたように思います。歩いてお散歩に行くことも増え、体力もついてきました。この1か月だけでも成長している子どもたちです。

ご家庭でも自分でしようとする姿が増えてくると思います。“自分で”という子どもの思いを大切にし、出来ても出来なくても“自分で”という子どもの心の成長を沢山褒めてあげてください。そしてご家庭の様子を伝えて頂き、園とご家庭で一緒に成長を喜べたらいいな、と思っています。



ひかりぐみだより

クラスにもすっかり慣れ、好きな遊びに集中して遊ぶ子どもたちの姿が目立ってきました。5月に入り、ひかりぐみのコーナーに新しくキッチンがやってきました。みんな大喜びでごっこ遊びに夢中になっています。最近では、保育者の話や手遊びにも一生懸命耳を傾けてくれるようになり、この1か月でずいぶん成長しているひかりぐみです。これから友だちとかかわることの楽しさを感じてもらえたらと思います。

今月より新しいお友だち、むつみちゃんが入園しました。これからたくさんみんなと一緒に遊ぼうね。

5月14日よりトイレトレーニングが始まりました。布パンツの着脱を自分でしようしたり、トイレに座ったりと一人ひとりのペースに合わせてゆっくり進めていきたいと思っています。



そら・ひこうきぐみだより

5月に入り、お当番活動が始まりました。ひかりぐみ友だちとのペアになり、朝・夕畑の水やりをしています。ひかりぐみのお友だちと一緒にになると、お兄ちゃん、お姉ちゃんという意識が強くなり、「こうやってやるんだよ」「一緒に行こう」等と優しく声をかけ教えたり、上手にできた時は「すごいなー！上手！」

と一緒に喜んで褒めてあげたりという、とても微笑ましい姿が見られるようになってきました。

5月からは給食室の手伝いも取り入れています。キャベツをちぎったり、玉ねぎの皮むき、パセリの収穫をしました。様々な体験を通して野菜に親しみを持ち、4月是一口も食べなかった子どもも「半分は食べる！」と食べてみたり、中には完食できるようになった子どももいて、日々少しずつ成長している子どもたちの姿に感動する毎日です。





こどもの日の集い

昼食はこいのぼりカレー

おやつはこいのぼりホットケーキでした。

こいのぼりカレーはひこうき組そら組に

レーズンの目とにんじんのウロコを盛り付けてもらいました。



そらやん保育園では園庭の畑で野菜を育てています。子どもたちが苗を植えて、毎日の水やりをして大切に育てています。



6月4日は虫歯予防デー

おいしく食べるためのむし歯予防

口は食べ物を碎いて唾液と混ぜ、胃に送り込む最初の消化器官です。むし歯になるとおいしくものを食べられず、消化にも悪い影響があります。むし歯菌は食べかすから酸を作り、歯を溶かしてむし歯をつくるので、食事のあとは丁寧な歯みがきを心掛けましょう。

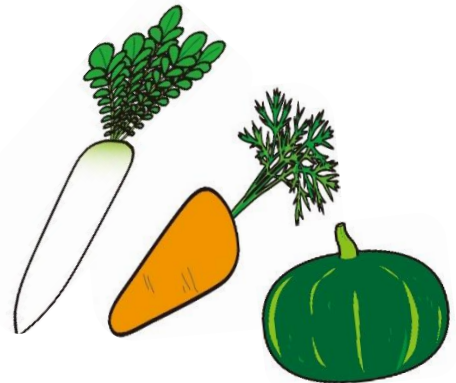
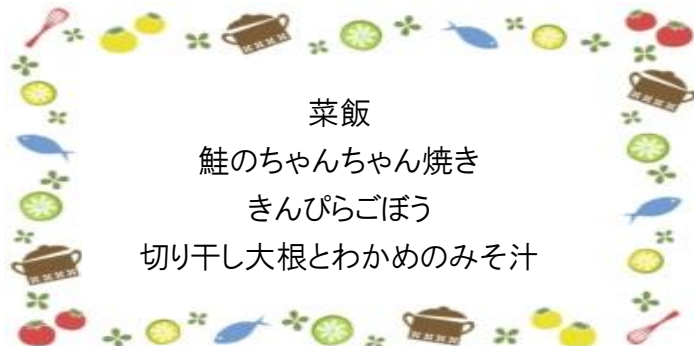
むし歯を作らない食べ方

- おやつのお菓子などをだらだら食べず、時間を決めて食べる
- 適度に硬く食物繊維の多い根菜類や昆布などをよく噛んで食べる
- 規則正しい食生活をする
- 清涼飲料水など、糖質の多い飲み物を常用しない



6月19日は食育デー

歯ごたえのある【かみかみメニュー】と野菜の葉っぱクイズのペープサートを予定しています。



食中毒とは？

食中毒は細菌やウイルス、毒素が食品といっしょに体内に侵入し、腹痛、下痢、嘔吐、発熱などの症状を起こすことをいいます。乳幼児は抵抗力が弱く、重症化することもあります。食中毒の主な原因となる細菌は“じめじめ”した梅雨や気温の高い夏に増殖しやすいので、この時期は特に注意が必要です。味、匂いに変化はなく、気づかずに食べてしまった…ということもあるので、きちんと予防し、食中毒を起こさないよう注意しましょう。

6月の旬の食材

- 野菜 ●ズッキーニ、さやいんげん、ピーマン、そら豆
- 果物 ●さくらんぼ、びわ、メロンなど
- 海産物 ●きす、いさき、あゆ、など

保健だより

園庭の木々の緑も濃くなり、雨にうたれて鮮やかに見えます。反面、うっとうしい梅雨期の季節・・・この時期、気温の変化に意外と体力が消耗し、発熱や下痢等の症状を起こしやすいようです。早寝し睡眠を十分にとり、消化の良いもの・バランスの良いものを食べて元気に乗り切りましょう。また6月は食中毒が起こり易い時期です。食べる物に気をつけてあげましょう。

6月4日は
虫歯予防デー

脳の働きが
活発になります

かむことは大切

あごの骨や
筋肉の成長を
助けます

だ液の分泌が
盛んになり、
消化を助けます

歯肉に刺激が伝わり、
歯を支えている骨や組織が
丈夫になります

だ液の分泌により、
食べかすが歯に付くのを
防ぎます

小さい子の
食中毒にご注意を

じめじめした梅雨から夏にかけては、食中毒が発生しやすい時期。食中毒の原因になる細菌が、活動しやすい湿度と気温がそろっているからです。食中毒になると、下痢、おう吐、腹痛などの症状を起こしますが、0、1、2歳のころは、けいれんを起こしたり、意識がなくなったりすることもあり、重症化しやすいので、調理するときは必ず手を洗い、新鮮な食材を使いましょう。

ちょう かん だい ちょう きん
腸管出血性大腸菌感染症



食中毒の中でも非常に症状が重い、腸管出血性大腸菌感染症。その原因となる菌には O-157 や O-111 などがあります。大腸に感染してベロ毒素を作り出し、激しい腹痛や水のような下痢、おう吐、発熱を起こします。脱水症状を起こしたり、重症化すると「溶血性尿毒症候群（HUS）」という病気を引き起こしたりして、最悪の場合は死に至ることも。

ほかの食中毒と違い、便を介して感染するので、便の処理には注意が必要です。予防のためには「こまめな手洗い」と「十分に火を通した調理」を徹底しましょう。